各論（個別課題への対応等）の方向性について（たたき台）
＜地域文化芸術活動ワーキンググループ＞

1. 地域クラブ活動を担う運営団体・実施主体の体制整備及び適切な運営の確保

（1）基本的な考え方

- 地域クラブ活動の運営団体（各地域クラブ活動を統括する団体）及び実施主体（個別の地域クラブ活動を実際に行う団体）は、生徒のニーズに沿った安全・安心なスポーツ・文化芸術活動の機会を提供するとともに、学校を含めた地域全体で生徒の望ましい成長を保障していくため、学校との連携が大切。
- また、地方公共団体と、地域クラブ活動の運営団体・実施団体がそれぞれの役割を担い、持続的・安定的に生徒のスポーツ・文化芸術活動の機会を提供していくためには、当該地域の実情を踏まえ、地域全体で関係者が連携して支えながら体制整備を進めることが必要。
- 特に、地域クラブ活動の運営団体については、組織体制・財政基盤の構築・強化、運営を担う人材の確保・育成、ICT 等を活用した運營業務の効率化を進めることが重要。

（2）取組の方向性

- 地域全体での連携体制の整備
 - ・ 地方公共団体と、地域における関係団体等（文化芸術団体、文化協会、社会教育施設、民間事業者、大学、地域の中学校文化連盟、地域学校協働本部等）の適切な役割分担と連携・協働
 - ・ 地域の実情を踏まえた関係団体の再構築・一元化による運営団体等の構築
 - ・ 行政、学校、関係団体等の情報共有・連絡調整等を行うコーディネーターの配置
 - ・ 地域クラブ活動の運営団体・実施主体と学校との連携（活動方針や生徒の活動状況等の共有、学校施設の活用や希望する教師の兼職兼業等のための連絡調整等） 等
- 運営に関するサポート体制の整備、運営を担う人材の確保・育成
 - ・ 地域クラブ活動の運営に関する相談・助言窓口等のサポート体制の整備
 - ・ 地域クラブ活動の創設・運営の手順や留意事項等をまとめたガイドブックの作成
 - ・ 会計・税務処理や労務管理、ガバナンス、マネジメント等に関する研修機会の確保 等

○生徒のニーズや意見等の反映される仕組みづくり

- ・ 児童・生徒へのアンケート調査や生徒によるワークショップ、生徒による活動目標・活動計画の話し合いなどを踏まえた地域クラブ活動の実施 等

○安全・安心な活動機会の提供

- ・ 参加者の心身の健康管理、事故防止の徹底、体罰・ハラスメントの根絶
- ・ 活動計画（活動日、休養日及び参加予定大会の日程等）の策定・公表
- ・ 運営団体の職員による実施主体への巡回指導
- ・ 活動中の生徒同士のトラブルや事故等の対応を含め管理責任の主体の明確化
- ・ 参加者・指導者の傷害保険・賠償責任保険への加入、運営団体等の賠償責任保険への加入 等

○組織体制・財務基盤の整備

- ・ 活動の維持・運営に必要な適切な額の会費の設定
- ・ 多様な財源の確保（協賛企業の獲得、ふるさと納税、企業版ふるさと納税の活用等）
- ・ 複数年度の収支計画（年度による参加者数の増減に備えた剰余金の繰越、減価償却費や引当金等の計上を含む。）の策定
- ・ 学校施設の管理運営の指定管理者制度や業務委託の導入による地域クラブ活動の活動場所や事務局スペースの安定的な確保、運営団体の中核となる人材の雇用確保 等

○ICT 活用による運營業務の効率化

- ・ 地域クラブ活動の指導者や参加者との連絡・調整、参加者の出欠、活動の実施報告へのコミュニケーションアプリ等の活用
- ・ 会費徴収や指導者への報酬支払等の会計業務等における ICT の活用 等

(参考) 実証事業等における取組事例

【地域全体での連携体制の整備】

●長野県飯田市

学校と地域をつなぐ「部活動地域移行支援コーディネーター」を配置し、地域における文化芸術・スポーツ環境の充実に向けて学校と地域との連携を図る。

●神奈川県川崎市【R5 事例集】

市教育委員会と市内の2つの音楽大学との間で、部活動支援に関する協定を締結。中学校5校をモデル校とし、大学生や卒業生の指導者を派遣し、休日の吹奏楽の指導を実施。

●北海道蘭越町【R5 事例集】

大学と地域連携協定を締結。同大の音楽学科の学生、教授などから、ICTを通じて質の高い演奏指導、また楽器の奏法について指導。

●兵庫県播磨町【R5 事例集】

大学と連携した指導者や講師等の派遣についての取組の推進。大学と播磨町との包括連携協定を締結し、指導者の質の向上及び量を確保。

●岐阜県【R5 事例集】

県のすべての地区に1名ずつコーディネーターを配置し、関係団体や市町村との連絡調整、指導・助言を定期的に行うことができる仕組みを構築。

【生徒のニーズや意見等の反映される仕組みづくり】

●熊本県南関町【R5 事例集】

5人グループを5班作り、生徒会、部活動部長、委員会委員長、学級委員、部活動に所属していない生徒など、様々な立場の生徒の意見を聴く場を設けた。ワークショップ結果やアンケート結果より、勝つことだけを目的としないレクリエーション的部活動の需要が大きいことが分かった。

●東京都渋谷区【R5 事例集】

区独自に区立中学校生徒のニーズ調査を実施し、学校部活動にはなかった新しいクラブを実施している。

【安全・安心な活動機会の提供】

●長崎県【R5 事例集】

「長崎県文化部活動の地域移行検討会」において、県内外の地域移行の取組実例を参考に、適切な会費の設定や企業協賛の方法等について情報交換・検討し、このことを県内市町教育委員会へ情報提供した。保険加入については、傷害補償のみでよいのか、損

害賠償責任への補償まで必要なのかなど、地域や実施団体の実情に応じた在り方が示された。

●富山県富山市【R5 事例集】

生徒の個人情報や健康状態の管理に関する地域クラブと学校間の連携（コーディネーターの配置）。メンタルケアは学校が主となって行い、技術指導は地域クラブが主となるなど、役割を分担して運営している。

【組織体制・財政基盤の整備】

●山口県防府市【R5 事例集】

地域クラブ管理事務局の設立と、総括コーディネーター1名、地域部活動推進員1名を配置し、文化芸術団体、学校等との調整等を行い課題を整理するとともに、運営団体・実施主体の体制整備など、持続可能な運営ができる組織体制の調整。

●宮城県【R5 事例集】

角田市は、企業版ふるさと納税の活用について検討。企業に「部活動地域移行」への理解を進め、中・長期的な視点で企業版ふるさと納税への協力依頼・周知を行った。

●北海道【R5 事例集】

企業等からの支援（寄附や人的資源）を受けられる体制を整備し、各地域における官民連携による取組を促進。企業等を対象としたセミナー、マッチング会の実施。

【ICT 活用による事務処理の効率化】

●埼玉県さいたま市【R5 事例集】

専用アプリシステムの【ジョブカン】を利用し、指導者が携帯電話からボタン一つで簡単に、労務管理、給与明細、日報・月報の作成ができるようにした。また管理側も業務効率化が図れた。

●埼玉県白岡市【R5 事例集】

部活動顧問と指導者間で、コミュニケーションアプリ（BAND、Sgrum）を活用することで、アプリ上で互いに連絡を取ったり、練習日程や練習内容を共有。

●富山県富山市【R5 事例集】

「band」というアプリでスケジュール管理、欠席連絡等すべて行い、保護者、学校、クラブ間での連絡・情報共有も容易。

2. 指導者等の質の保障・量の確保

(1) 基本的な考え方

- 地域クラブ活動を円滑に実施するためには、地域の多様な人材等から、質・量ともに十分な指導者を確保することが不可欠。地域展開に当たっては、活動内容の質的な向上も図る必要があり、そのためには、適切な資質・能力を備えた指導者による良質な指導が行われることが重要。
- これまでも、各地方公共団体において、人材バンクの設置や指導者育成研修会の開催、文化芸術団体・民間事業者・大学等と連携した人材確保の取組等が進められているが、多くの地方公共団体において指導者の量の確保等に苦慮しており、更なる取組を推進する必要。
- また、地理的要因や指導者不足といった事情に関わらず活動できるようにすることが極めて重要であり、対面とデジタルを最適に組み合わせるなど、新たな手段の活用も重要。

(2) 取組の方向性

○多様な人材の発掘・マッチング・配置

<想定される人材の例>

アマチュアでの活動者、アーティスト、民間の文化芸術関係の指導者、大学生、退職教職員、教職員（兼職兼業）、民間企業等の社員、自営業者、公務員（兼職兼業） 等

<取組>

- ・都道府県等による人材バンクの設置・運用（文化芸術団体や民間事業者、大学等の幅広い関係者への登録依頼や、地域クラブ活動の運営団体等とのマッチング支援を含む。）
- ・専門的な指導を行う人材だけではなく、指導補助や見守りなど活動をサポートする人材を募集し、地域クラブ活動に携わるきっかけづくりを進め、幅広い人材に協力が得られる仕組みを整備
- ・大学生の活用促進のための地方公共団体と大学との組織的な連携、地域クラブ活動における指導の単位化促進等
- ・教職員の兼職兼業の推進のための教育委員会における規程等の整備・周知、教職員の指導希望の適切な把握 等

○適切な資質・能力の保証、人材育成

- ・地方公共団体や地域の文化芸術団体・大学等による研修会の開催、地方公共団体による指導者資格の認定
- ・長期的な人材育成の観点から、指導補助や見守りなどを含めた地域クラブ活動を支え

る多様な人材が、学び続けることのできる仕組みづくりや資格の取得を目指す環境整備

- ・経験豊富な指導者とペアで指導を行いつつ資質・能力の向上を図る OJT の推進
- ・地域クラブ活動の方針や生徒の志向（生徒同士で自発的に行う活動を含む）等に応じた参加者の安全確保や見守りに重点を置いた研修の実施
- ・地域クラブにおける適切な指導の参考となる手引き等の作成 等

○平日（部活動）と休日（地域クラブ活動）の一貫指導

- ・地域クラブの運営団体・実施主体と学校との間での活動方針等の共有
- ・指導者同士での定期的な情報共有（ICT・アプリの活用を含む。）
- ・学校関係者と地域クラブ関係者による合同研修会の開催
- ・共通の指導者による指導（兼職兼業の教員や部活動指導員による地域クラブ活動の指導、地域クラブの指導者を部活動指導員に任用） 等

○ICT の効果的活用

- ・デジタル技術を活用した遠隔指導、デジタル動画を活用した自主学習（国が新たに作成するポータルサイトの活用を含む。）
- ・デジタルと対面での指導との最適な組み合わせ 等

(参考) 実証事業等における取組事例

【多様な人材の発掘・マッチング・配置等】

●大分県竹田市【R5 事例集】

教員 OB、地域の吹奏楽団、県立短期大学、県吹奏楽連盟と連携し、中学校を拠点校とした活動に指導者を派遣。

●兵庫県播磨町【R5 事例集】

町内外の文化関係団体、地元商工会や企業連絡協議会等との連携を深め、指導者を確保等。大学と連携した指導者や講師等の派遣、大学との包括連携協定の締結により指導者を確保。

●秋田県大館市【R5 事例集】

社会人吹奏楽団の協力を得て人材を確保。専門講師の指導補助や講習会の運営に当たる「見守り指導者」の経験者が3年間で20人を超え地域の指導者や部活動指導員の人材確保につながりつつある。

●愛知県岡崎市【R5 事例集】

地域の音楽家協会・大学、部活動顧問と連携し、講師と運営協力者の人材を発掘。

●熊本県【R5 事例集】

指導者の確保を行うため、運動部文化部を併せて、「熊本県地域クラブサポーターバンク」を設置し、指導者のみならず、指導者補助、運営サポーター（見守り）、事務担当者も募集し、人材を確保。

●岐阜県【R5 事例集】

地域の指導者の情報を県のサーバで管理し、適切な人材をスムーズに検索、マッチングするためのシステムを整備し、約800人（令和5年度現在）の指導者が人材バンクに登録。

●北海道【R5 事例集】

令和5年3月「ほっかいどう部活動・地域クラブ活動サポーターバンク」を設置、周知用リーフレットを作成し各市町村教育委員会に送付、SNSでの広報活動を実施。

【適切な資質・能力の保障・人材育成】

●山口県【R5 事例集】

指導者の資質向上を図るため、中学生の発達特性を考慮した指導の在り方や緊急時の対応（救急救命）など、2日間の研修を行い、全て受講した者に対して「受講修了証」を交付。

●奈良県【R5 事例集】

県教育委員会運動部活動担当課と連携し、地域におけるクラブ活動指導者の質の保障に向けた研修会をオンデマンド方式にて開催。

●福井県越前市【R5 事例集】

指導者研修会を開催し、中学生期の特徴への理解や指導者の役割についての研修を実施。実務者会議で状況確認、指導方法等について協議。

●三重県菰野町【R5 事例集】

指導者の質を確保するために、年間 3 回の指導者研修会（アンガーマネジメント、反倫理的指導、ハラスメント）を実施。

●長野県千曲市、坂城町【R5 事例集】

中学生に相応しい指導者の質を保障するため、指導者研修会（WEB）を開催。

●山口県【R5 事例集】

県のガイドラインにおいて、公認スポーツ・文化芸術指導者資格を有している、または市町が基準として示す指導者が携わっていることを地域クラブ活動の要件として例示。

【平日（部活動）と休日（地域クラブ活動）の一貫指導】

●大分県竹田市【R5 事例集】

部活動指導員や兼職兼業の教職員がクラブに参加したことで指導の一貫性を確保

【ICT の効果的な活用】

●北海道蘭越町【R5 事例集】

大学と地域連携協定を締結。同大の音楽学科の学生、教授などから、ICT を通じて質の高い演奏指導、また楽器の奏法について指導。（再掲）

●東京都日野市【R5 事例集】

大学と連携し市内小中学生を対象に zoom オンラインを活用したプログラミング活動を実施。

●香川県三豊市【R5 事例集】

地域指導者をメイン講師に完全オンライン活動によるパソコンクラブを実施。

3. 活動場所の確保

(1) 基本的な考え方

- 地域クラブ活動の活動場所として、学校施設をはじめ、社会教育施設や民間施設等の様々な施設が活用されており、引き続き、生徒の新たなスポーツ・文化芸術活動の機会を確保するためには、地域クラブ活動を行う場所を十分に確保していくことが不可欠。
- 今後、地域クラブ活動がますます増加し、多様な活動が地域クラブ活動として広がることに対応していくためには、学校施設等の更なる利用の促進に加え、学校の働き方改革や地域の指導者の負担軽減の観点から、活動場所や学校施設の効果的・効率的な管理等にも取り組むことが必要。

(2) 取組の方向性

- 生徒の活動場所等の確保
 - ・地域の中学校をはじめとして、小学校や高等学校、特別支援学校、廃校施設に加え、公共の社会教育施設や、地域団体・民間事業等が有する施設の活用
 - ・用具等の保管スペースの確保
 - ・認定を受けた地域クラブ活動の活動についての優先利用、使用料の減免等に関する規程の整備
 - ・学校備品等の活用に関する規程の整備 等
- 活動場所の管理運営の効率化
 - ・予約システムと連動したスマートロック、キーボックス等による鍵の受け渡しの負担軽減 等
- 学校施設の管理運営の効率化
 - ・指定管理者制度や業務委託の活用
 - ・生徒と地域住民の共同利用や公共施設の有効活用を実現するための学校施設の複合化 等

(参考) 実証事業等における取組事例

【生徒の活動場所等の確保】

●岐阜県本巣市【R5 事例集】

市有施設の優先確保や施設の利用料の全額免除を行うことで、取り組み前の状態とできるだけ同じような環境を確保。

●長野県千曲市、坂城町【R5 事例集】

学校施設や文化施設の使用料減免。

【活動場所の管理運営の効率化】

●三重県四日市市【R5 事例集】

P F I 施設の中学校を活用することで管理会社職員から直接鍵を受取り活動

●兵庫県播磨町【R5 事例集】

運営団体が一括して鍵を管理。

●宮崎県宮崎市【R5 事例集】

エリアコーディネーターが開錠、施錠。

●埼玉県白岡市【R5 事例集】

委託先団体にスペアキーを預け、委託先団体と指導者間で鍵の受渡にかかる書類を取り交わして対応。

【学校施設の管理運営の効率化】

●岐阜県中津川市【R5 事例集】

職員玄関とは別に導線を確保し、学校職員が居なくても使用可能。

●兵庫県加古川市【R5 事例集】

地域指導者のみでセキュリティーや鍵の対応ができるよう、活動場所（音楽室）の校内セキュリティーを別回路化。

●新潟県新潟市【R5 事例集】

地域クラブ用のキーボックスを設置し地域クラブによる開錠・施錠。

●新潟県三島郡出雲崎町【R5 事例集】

廊下にシャッターを新設し、活動場所（音楽室）と他のエリアを遮断し、休日の活動に対応。

4. 活動場所への移動手段の確保

(1) 基本的な考え方

- 地域クラブ活動の活動場所が近隣の施設以外となる場合や、複数の地域が一体となり、地域クラブ活動を実施する場合等においては、活動場所への生徒の移動手段の確保が必要。
- 活動場所への移動手段の確保については、多くの生徒が集まりやすい活動場所の確保と一体的に検討をするとともに、地方公共団体における交通部局と教育部局及び文化芸術部局等との連携の下、推進することが必要。

(2) 取組の方向性

- 既存の送迎車両の有効活用
 - ・ スクールバスの活用 等
- 地域公共交通との連携等
 - ・ 地域公共交通の運行ダイヤに合わせた地域クラブ活動の実施
 - ・ 地域公共交通の運行ダイヤの見直しの検討
 - ・ AI オンデマンド交通等の新技術や自家用有償旅客運送（公共ライドシェア）の仕組みの活用 等

(参考) 実証事業等における取組事例

【既存の送迎車両の有効活用】

- 香川県東かがわ市【R5 事例集】
スクールバスを活用した生徒の送迎。
- 福井県敦賀市【R5 事例集】
各学校を経由する借上バスの運行

5. 大会やコンクールの運営の在り方

(1) 基本的な考え方

- 全日本吹奏楽連盟や全日本合唱連盟が主催する全国コンクールでは、規程等の見直しが行われ、地域クラブに所属する生徒が参加できるようになっている一方、それら以外の大会等においては、規程等の見直しが検討段階の状況にある場合等もあり、地域クラブ活動の参加者が大会等に参加できない場合も見受けられるため、地域クラブ活動の参加者のニーズ等を踏まえつつ、大会等の主催者において、更なる改革を進める必要。
- また、これまで部活動として大会等に参加していた際に、顧問の教師等が担ってきた引率や大会運営、大会に参加する生徒への支援についても、教師の負担を軽減しつつ、生徒が持続的に大会等に参加できるよう、大会等の主催者や地方公共団体において、適切な対応をしていくことが重要。
- さらに、地域クラブ活動に参加する生徒の成果発表の機会として、文化芸術を楽しむことや他の生徒との交流を深めることを目的とした多様なニーズに応じた大会の開催も重要。

(2) 取組の方向性

- 生徒の大会等の参加機会の確保
 - ・地域クラブ活動の認定の仕組みの導入にあわせた大会参加規程の見直し
 - ・地域クラブ活動の参加者の都道府県大会、地区大会及び市区町村大会への参加促進
 - ・生徒の所属校のある都道府県と当該生徒が参加する地域クラブのある都道府県等が異なる場合における大会等への参加の促進 等
- 大会に参加する生徒への支援
 - ・地方公共団体における大会開催地まで交通費・宿泊費の支援について、部活動参加生徒と同様に、地域クラブ活動参加生徒へも支援 等
- 大会等への引率
 - ・部活動参加生徒の大会引率について、部活動指導員や校長が認める外部指導者など教師以外の者が引率を可能とするための規程の整備促進 等
- 全国大会をはじめとする大会等の在り方の見直し
 - ・生徒や保護者等の心身の負担等を踏まえた大会回数の精選
 - ・多様な大会の開催（生徒間の交流を目的とした大会等） 等

(参考) 実証事業等における取組事例

●富山県富山市【R5 事例集】

運営主体の保護者会や講師が、学校部活動および地域クラブ活動両方の音楽的指導、スケジュール管理や会計全般、大会に関する事務手続き等、従来、部活動顧問が行っていた業務を担うことによって教員の負担を軽減。

●兵庫県加古川市【R5 事例集】

地域指導者による大会等の生徒引率。大会運営等について、可能なものは教員に代わって地域指導者が対応。

●岡山県【R5 事例集】

吹奏楽連盟、中学校文化連盟等への大会の在り方についてヒアリングを実施。

6. 生徒・保護者等の関係者の理解促進

(1) 基本的な考え方

- 部活動の地域展開は大きな変化を伴う改革であり、円滑に進めるためには、生徒や保護者等に対して、部活動を取り巻く現状・課題や、改革の理念、地域展開による効果、地域クラブ活動の実施体制・活動内容、会費・保険の取扱い等について、丁寧に周知し、理解を得ることが不可欠。
- また、地域クラブ活動の在り方等を検討するに当たっては、当事者である生徒の意見・ニーズを的確に把握し反映させることが重要であるとともに、生徒が自らのニーズにあった地域クラブ活動に参加できるよう、学校と連携してきめ細かな情報提供等を行うことが重要。
- これまでも、国において「部活動改革ポータルサイト」の作成、ポスター・チラシ・動画等による周知・広報を行うとともに、各地方公共団体においても説明会等の開催や生徒のニーズ把握のためのアンケート調査等が行われてきているが、改革途上にある地方公共団体等を含めて更なる改革を推進するためには、国・地方を挙げてより一層の周知・広報等を進めていく必要。

(2) 取組の方向性

- 国における取組
 - ・改革の理念や「改革実行期間」（令和8～13年度）の取組方針等を分かりやすく示したポスター・チラシ・動画等の作成
 - ・「部活動改革ポータルサイト」やSNS、各種広報媒体を通じた周知・広報
 - ・地方公共団体と連携した説明会・シンポジウム等の開催
 - ・実証事業等を通じた生徒・保護者の認識や意向等の把握 等
- 地方公共団体等における取組
 - ・各地方公共団体の取組方針等に関するポスター・チラシ等の作成
 - ・地域クラブ活動への参加促進のための学校と連携した生徒・保護者に対するきめ細かな情報提供等（小学校高学年時の体験会、中学校入学時のオリエンテーション、アプリなどによる地域クラブ活動の実施状況等の情報提供等）
 - ・説明会・シンポジウムや、地域でのスポーツ・文化芸術活動の体験会等の開催
 - ・生徒・保護者のニーズ把握のためのアンケート調査の実施
 - ・生徒同士で取り組みたい活動等について議論するワークショップの開催 等

(参考) 実証事業等における取組事例

【効果的な周知・広報等】

●栃木県佐野市【R5 事例集】

地域移行の必要性や実証事業の取組の様子がわかるリーフレットやアンケートの集計結果を市内の全保護者にメール配信したり、ホームページに掲載したりすることにより、生徒や保護者の関心を高める取組。

●神奈川県秦野市【R5 事例集】

広報誌や動画を作成し地域や保護者等への説明会を継続的に実施。

●福井県福井市【R5 事例集】

生徒が自分の興味関心に応じて参加するイベントを選択できるWeb掲示板を作成。保護者等に部活動の地域移行を周知するための広報誌を作成しホームページへ掲載。

●福井県【R5 事例集】

県の広報番組において、担当課による部活動の地域移行の意義等の説明、クラブの指導者、生徒へのインタビューを県の広報番組で放映。

【生徒のニーズを反映した活動】

●新潟県佐渡市【R5 事例集】

小中学生へのアンケート調査結果をもとに、技術力向上を目指す「スキップ型」、様々なスポーツや文化活動を体験できる「エンジョイ型」の2タイプの活動を提供。

【ワークショップの開催】

●熊本県南関町【R5 事例集】

5人グループを5班作り、生徒会、部活動部長、委員会委員長、学級委員、部活動に所属していない生徒など、様々な立場の生徒の意見を聴く場を設けた。ワークショップ結果やアンケート結果より、勝つことだけを目的としないレクリエーション的部活動の需要が大きいことが分かった。

7. 生徒の安全確保のための体制整備

(1) 基本的な考え方

- 地域クラブ活動においても、学校部活動と同様に、事故や暴力・暴言等の不適切行為の防止等を徹底し、生徒が安全・安心に活動に取り組める環境を構築することが不可欠。
- また、事故等や不適切行為が発生した場合の責任の所在を明確化するとともに、怪我等が生じても生徒や指導者が十分な補償が受けられるよう、適切に保険への加入を行う必要。

(2) 取組の方向性

- 事故や暴力・暴言等の不適切行為の防止
 - ・外傷・障害・事故の防止や暴力・暴言・ハラスメント等（性暴力等を含む）の防止のための指導者等への研修の推進
 - ・地域クラブ活動の運営団体・実施主体における組織的な体制整備（危機管理マニュアルの作成、有資格のトレーナー・弁護士等との緊密な連携等を含む。）
 - ・地域クラブにおける適切な指導の参考となる手引き等の作成
 - ・過度な練習等の防止や適切な活動環境の確保
 - ・地方公共団体等が相談を受け付け対応する仕組みの構築 等
- 事故等や不適切行為が発生した場合の責任の所在の明確化
 - ・地域クラブ活動の運営主体や事故等の場面に応じた法的な責任主体及び賠償制度・保険の取扱いについて、国において分かりやすく整理の上、周知
 - ・市区町村、地域クラブ活動の運営団体・実施主体、活動場所の管理主体等との間で、あらかじめ、事故等が発生した場合の対応や責任関係等を明確化
 - ・地域クラブ活動の運営団体等の賠償責任保険（例：スポーツ安全協会の「スポーツ・文化法人責任保険」（法人対象））への加入促進（「地域クラブ活動」の認定要件の一つとして設定することを検討） 等
- 生徒及び指導者の保険への加入
 - ・自身の怪我等を補償する保険や個人賠償責任保険（例：スポーツ安全協会の「スポーツ安全保険」は両者を兼ね備えたもの）への加入促進（「地域クラブ活動」の認定要件の一つとして設定することを検討） 等

【参考】実証事業等における取組事例

【事故や暴力・暴言等の不適切行為の防止】

●山口県【R5 事例集】

指導者の資質向上を図るため、中学生の発達特性を考慮した指導の在り方や緊急時の対応（救急救命）など、2日間の研修を行い、全て受講した者に対して「受講修了証」を交付。

●富山県【R5 事例集】

生徒が安心・安全に活動できるよう、指導者育成のための研修を開催。

オンデマンド研修：指導倫理、心理学、著作権 等

救命講習：胸骨圧迫、AEDの使用法

●三重県【R5 事例集】

大学と連携し、コーチング論、ハラスメント防止、組織マネジメント等に関する指導者研修講座を5講座作成しオンデマンド配信。

●徳島県【R5 事例集】

生徒、指導者が安全、安心して活動できるよう、指導者を対象にオンデマンドで研修を実施し、研修後のアンケートや指導者からの聞き取りを今後の研修等に活かす体制を構築。

●東京都日野市【R5 事例集】

保険会社の専門家チームと協同開発したオンライン研修システムを利用し、指導者の質の担保を前提とした運営基準を確立。

●大阪府大東市【R5 事例集】

指導者を対象に体罰防止研修会を開催し、不祥事の未然防止や指導の質を向上。

●岐阜県岐阜市【R5 事例集】

学校の管理職がいじめの未然防止、体罰や暴言、ハラスメント等の禁止に係る研修を実施。

【責任の所在の明確化】

●静岡県掛川市【スライド資料】

地域クラブ活動の認定要件として、以下の内容を設定。

- ・人権を尊重して活動を行うこと。
- ・成長期にある生徒がバランスの取れた生活を送ることのできるような活動日数及び活動時間を設定すること。
- ・生徒の発達段階や健康の状態、気温等の環境を考慮し、指導内容や練習時間、水分

- 補給や休息时间等を設定すること。
- ・生徒の安全確保に万全を期すること。

【生徒及び指導者の保険への加入】

●茨城県神栖市【スライド資料】

地域クラブ活動の認定要件として、生徒・指導者共に必要な保険を手配、加入することを設定。

8. 障害のある生徒の活動機会の確保

(1) 基本的な考え方

- 障害の有無に関わらず、生徒が希望する活動を主体的に選択できる環境の整備を進めていくためには、前述の「1. 地域クラブ活動を担う運営団体・実施主体の体制整備」から「7. 生徒の安全確保のための体制整備」までについて、障害がある生徒も活動に参加することを想定し、それぞれの取組を進めることが重要。
- また、障害の特性に応じた配慮や工夫をする中で、指導者が指導に当たっての留意点等を把握するとともに、特別支援学校等と連携し、障害がある生徒も参加できる安全で多様な活動を展開していくことが重要。

(2) 取組の方向性

- 多様な地域の関係者の参画
 - ・地域の文化芸術関係クラブ、放課後デイサービス実施事業者等、多様な地域の関係者の参画 等
- 新たな文化芸術の機会の提供
 - ・現在、文化部活動が行われていない場合（障害のある生徒が、特別支援学校や中学校において部活動に参画する機会がないケース）における、「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」中間とりまとめ（令和6年12月18日公表）で提示した趣旨（※）を踏まえた新たな文化芸術の機会の提供 等
 - （※）地域クラブ活動の在り方として、「これまで学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ、新たな価値を創出することが重要」であり、その例として、「生徒のニーズに応じた多種多様な体験（レクリエーション的な活動や柔軟なルール等に基づく多様な活動を含む）」、「生徒の個性・得意分野等の尊重」といったことを挙げている。
- その他留意事項
 - ・「1. 地域クラブ活動を担う運営団体・実施主体の体制整備」から「7. 生徒の安全確保のための体制整備」を踏まえた地域展開の推進
 - ・既に文化部活動が行われている場合（障害のある生徒が、中学校等において現に他の生徒とともに部活動を行っているケースや、特別支援学校において部活動を行っているケース）における、運営団体・実施主体における障害のある生徒の受け入れ
 - ・指導者の資質・能力の向上（特に、障害のある生徒への指導を専門としない指導者等）等

(参考) 実証事業等における取組事例

●東京都渋谷区【R5 事例集】

生徒のニーズに合わせた活動機会を提供することにより、学校にあまり登校していない生徒、学校部活動に参加していない生徒、特別支援学級の生徒も活動に参加し、学校以外のコミュニティの場となっている。